



## 当社酵母のカビ毒吸着作用

### カビ毒とは・・・カビ類が産生する有害二次代謝物

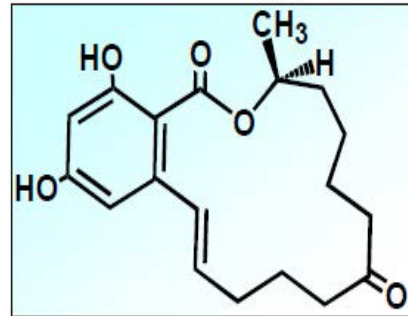
カビ毒(マイコトキシン)は、カビ類が生産する毒物で熱にも安定なため、カビが死滅しても残留し、広く飼料を汚染します。カビ毒は300種類以上が知られ、アフラトキシン、ゼアラレノン、デオキシニバレオールに対し農水省も規制値を定めています。

以下に、家畜への影響を記します。

アフラトキシン・・・肝臓障害、食欲不振、免疫低下、乳量減少

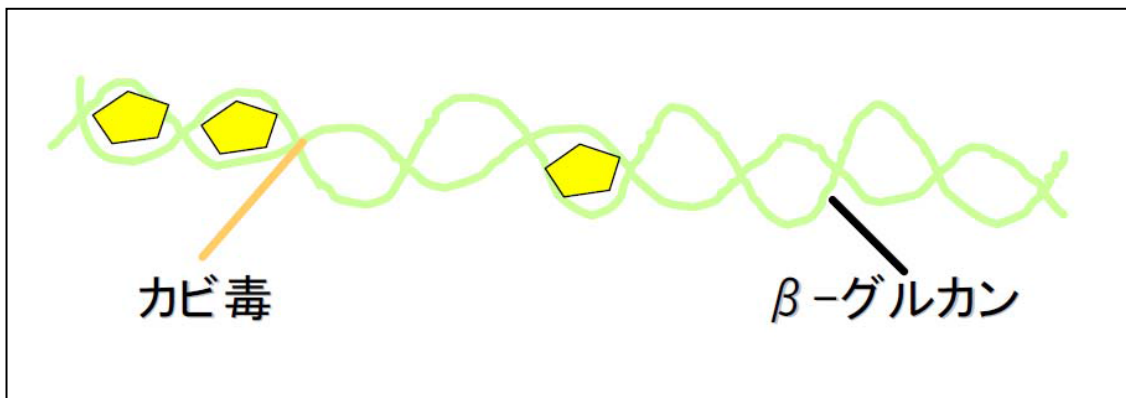
ゼアラレノン・・・妊娠障害(受胎率低下、流産、分娩率低下)

デオキシニバレノール・・・免疫障害、消化器障害



カビ毒の一例 (ゼアラレノン)

・細胞壁中の $\beta$ -グルカンの分子間力と水素結合で吸着し体外に排出にするものと推定



### お問い合わせ

#### 日本製紙株式会社 ケミカル事業本部

第二営業部 〒100-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 TEL 03-6665-5900 (代表) FAX 03-6665-0360  
関西営業部 〒541-0047 大阪市中央区今橋2-3-16 MID今橋ビル6F TEL 06-6228-6300 FAX 06-6228-6303

WEB からのお問い合わせは [こちら](#)